

公益社団法人砂防学会

令和5年度砂防・急傾斜管理技術者試験

受 験 の 手 引



〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 (砂防会館別館 3F)

公益社団法人砂防学会

F A X (03) 3 2 3 0 - 6 7 5 9

e-mail : sabo274@abox3.so-net.ne.jp

<https://www.jsece.or.jp/>

目 次

令和 5 年度砂防・急傾斜管理技術者試験スケジュール表	3
I. 受験資格	4
II. 試験の内容について	4
III. 試験の免除	5
IV. 受験申込に必要な書類	6
V. 受験関係書類提出先及び問い合わせ先	6
VI. 申込書類の作成方法	7
VII. 受験料	14
VIII. 受験にあたっての注意事項	16
IX. 砂防・急傾斜管理技術者の登録及び登録料	17
X. その他の注意事項	17

令和5年度砂防・急傾斜管理技術者試験 スケジュール表

1. 受験申込受付：
 - ・令和5年4月3日（月）～5月31日（水）必着
 2. 受験票送付：試験日の一週間前までに到着するように発送
 - ・試験会場案内書同封（試験会場は砂防学会ホームページにも掲載）
 3. 一次試験実施：
試験会場（予定）：仙台、東京、長野、京都、福岡（10時20分から受付）
試験日：令和5年6月24日（土）11時 開始
 4. 一次試験結果通知：令和5年7月下旬
 - ・砂防学会ホームページでも合格者受験番号掲載
 - ・一次試験合格者には二次試験案内同封
 - ・一次試験の免除者には二次試験案内と業務体験レポート提出案内同封
 5. 二次試験申込受付（一次試験免除者の申込を含む）：
令和5年8月18日（金）迄（当日消印有効）
 6. 二次試験実施会場・時間の通知：試験日の2週間前までに到着するように発送
 7. 二次試験実施：
試験日：令和5年9月23日（土）、24日（日）
試験地：京都、福岡
試験日：令和5年9月30日（土）、10月1日（日）
試験地：東京
（二次試験は上記いずれかの試験地の内1日を選択）
 8. 試験結果通知：令和5年10月下旬（発送予定）
 - ・合格者には合格証明証および砂防・急傾斜管理技術者登録案内同封
 - ・砂防学会ホームページでも合格者受験番号掲載
 9. 砂防・急傾斜管理技術者登録申請受付：登録申請書発送から約2週間後迄
（当日消印有効）
※3週間の登録申請期限を過ぎて登録申請する場合は登録料が変わります。
 10. 砂防・急傾斜管理技術者登録証明書送付：申請受理の約1ヶ月後
 - ・登録証及び登録証携帯用カード同封
- その他
- ・試験に関する情報は砂防学会ホームページに掲載します。
 - ・砂防学会ホームページの URL は <https://www.jsece.or.jp/>

I. 受 験 資 格

砂防・急傾斜管理技術者試験の受験資格は、砂防・急傾斜地崩壊対策（雪崩対策を含む）（以下、砂防・急傾斜という）関係業務に関する7年以上の実務経験年数を有する者です。
この実務経験年数のうちには、2年以上の指導監督的（管理的な立場）実務経験が必要です。

※実務経験とは

- （１） 「砂防・急傾斜関係業務に関する実務経験」とは、砂防・急傾斜に関する調査、計画、設計、工事、管理、研究に関する実務経験をいいます。
- （２） 「砂防・急傾斜関係業務に関する指導監督的（管理的な立場）実務経験」とは前項の業務・工事の実施に際して、管理技術者等として当該業務・工事等の監理・監督及び部下を指導した実務経験をいいます。
- （３） 実務経験には、単なる写図工若しくは労務者としての経験又は単なる庶務、会計それらに類する事務に関する経験は含みません。

II. 試験の内容について

試験は、一次試験（多肢選択式・経験論文）と二次試験（口頭試問（面接方式））があります。

（１）一次試験

●午前の部 （11:00～11:50 50分）

砂防・急傾斜関係業務に関する一般、法令・調査・計画・設計・施工・管理、施設の構造等に関する基礎的知識問題（多肢選択式）。

●午後の部①（13:20～15:00 100分）

砂防・急傾斜関係業務に関する一般、法令・調査・計画・設計・施工・管理、施設の構造等に関する専門的知識問題（多肢選択式）。

●午後の部②（15:20～16:40 80分）

砂防・急傾斜関係業務に関する技術的課題解決及び応用能力を問う経験論文（1500字以内）。

※過去の一次試験問題と正答は砂防学会ホームページに掲載しています。

<https://jsece.or.jp/sssmeqs/>

（２）二次試験

●経歴内容、体系的専門知識及び応用能力を含む適格性についての口頭試問（一人20分程度 面接方式）を行います。

（３）試験会場（予定）

●一次試験の試験会場は仙台、東京、長野、京都、福岡を予定しています。

●二次試験の試験会場は東京、京都、福岡を予定しています。

Ⅲ．試験の免除

次の各号に該当する者については、申請により砂防学会の審査を経て一次試験の一部が免除されます。

（１）一次試験のうち基礎的知識問題（多肢選択式）の免除

1. 技術士補（建設部門）、技術士第一次試験（建設部門）に合格した者及び1級土木施工管理技士

（２）一次試験のうち基礎的知識問題（多肢選択式）及び専門的知識問題（多肢選択式）の免除

1. 技術士（建設部門（河川、砂防及び海岸・海洋））及び技術士第二次試験（建設部門（河川、砂防及び海岸・海洋））に合格した者

（３）一次試験の免除

※一次試験の基礎的知識問題（多肢選択式）、専門的知識問題（多肢選択式）及び経験論文の免除）

1. 一次試験に合格し、当該年度に受験しなかった者、又は二次試験に不合格となった者で、次年度以降3年以内に受験する者

IV. 受験申込に必要な書類

申込に必要な書類は、次のとおりです。

- | | |
|--|-------|
| (1) 砂防・急傾斜管理技術者試験受験願書 | 1 通 |
| (裏面に振替払込請求書兼受領証の写しを貼付) | |
| (2) 実務経験証明書 | 1 通 |
| (3) 住民票（抄本） | 1 通 |
| ・ 2 ヶ月以内発行のもの・マイナンバーの記載がないもの
・ 本籍記載のないものでよい | |
| (4) 一次試験の一部免除及び一次試験の免除を申請する者は、免除の対象となる資格等を証明するもの | 各 1 通 |

※ 免除申請で資格等を証明するものとは、

○基礎的知識問題（多肢選択式）のみ免除の場合

- ①技術士第一次試験合格証（コピー可）
- ②技術士第一次試験合格証明書（原本）
- ③技術士補登録証（コピー可）
- ④技術士補登録証明書（原本）
- ⑤ 1 級土木施工管理技術検定合格証明書（コピー可）

○基礎的知識問題（多肢選択式）及び専門的知識問題（多肢選択式）の両方が免除の場合

- ①技術士の資格証明書（技術士登録等証明書等、選択科目のわかるもの、コピー可）
- ②技術士第二次試験受験票（コピー可）及び技術士第二次試験合格証（コピー可）

○一次試験の免除の場合

- ①砂防・急傾斜管理技術者試験一次試験合格通知書（コピー可）

※ 受験申込みに必要な書類に記載された個人データにつきましては、砂防・急傾斜管理技術者試験の事務以外には使用いたしません。

V. 受験関係書類提出先及び問い合わせ先

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2 - 7 - 4（砂防会館別館 3F）
公益社団法人 砂防学会
e-mail : sabo274@abox3.so-net.ne.jp
F A X (03) 3230-6759

VI. 申込書類の作成方法

受験の申込は、以下の要領により申込んでください。なお、記載内容の確認及び添付書類等を忘れないように十分注意してください。

- (1) 受験願書等は、砂防学会ホームページより「受験願書」及び「実務経験証明書」の様式をダウンロードし、P-9 の記載例 1 を参考にして必要事項を記入し、前述「IV. 受験申込に必要な書類」に記載の書類を添えて、砂防学会宛に郵送にて提出してください。
- (2) 受験願書等の郵送到着順に受付を行い受験地を決定します。受験会場は十分な収容数を確保するよう努めておりますが、場合によっては受験地の希望に沿えない場合があります。
- (3) 申込書類と住民票の氏名・住所は必ず同一のものを記入してください。
- (4) 砂防学会正会員の者は、必ず砂防学会会員番号を記入して下さい。
- (5) 「所属名」欄には、現在勤務している所属について部署名（課名等）まで記入してください。
- (6) 一次試験のうち基礎的知識問題（多肢選択式）免除申請者は受験願書「試験免除申請」欄の「一次試験一部（基礎）免除」に☑を記入してください。

記入例：

試験免除申請	☒ 一次試験一部（基礎）免除 ☐ 一次試験一部（基礎・専門）免除 ☐ 一次免除 ☐ 免除なし
--------	---

- (7) 一次試験のうち基礎的知識問題（多肢選択式）及び専門的知識問題（多肢選択式）免除申請者は受験願書「試験免除申請」欄の「一次試験一部（基礎・専門）免除」に☑を記入してください。

記入例：

試験免除申請	☐ 一次試験一部（基礎）免除 ☒ 一次試験一部（基礎・専門）免除 ☐ 一次免除 ☐ 免除なし
--------	---

- (8) 一次試験の免除申請者は、受験願書「試験免除申請」欄の「一次試験免除」に☑を記入してください。

記入例：

試験免除申請	☐ 一次試験一部（基礎）免除 ☐ 一次試験一部（基礎・専門）免除 ☒ 一次免除 ☐ 免除なし
--------	---

(9) 受験願書に添付する写真は次のとおりです。

①証明用カラー写真と同様のものとし、スナップ写真は不可（写真裏面に氏名・希望受験地を記入してください。）

②脱帽、正面上半身のもの（受験時に眼鏡等を使用する方は、必ず眼鏡等を着用した写真を用いてください。）

③撮影後 3 ヶ月以内のもの（厳守）

④サングラス着用のもの、不鮮明なもの等受験者本人の顔かたちと異なると判断される場合は受験できなくなります。

⑤登録証（携帯用カード）の顔写真は、受験願書の写真を使用します。

(10) 実務経験証明書（P-10, 11 記載例 2-1, 2 及び-12, 13 記載例 3-1, 2 参照）の実務経験年数は 2023 年 3 月 31 日現在 で記入してください。

(11) 実務経験は可能な限り、これまでの経験を網羅するよう記入してください。

(12) 勤務先の事業主等の記名・押印（公印）が必要です。勤務先が倒産等で、当時の事業主等の証明が取れない場合は、現在の事業主の証明でも結構です。実務経験証明書を複数の者から受けるときは、それぞれ別葉にしてください。

(13) 従事の期間は、重複は認めませんので期間の重複に注意して記入してください。

（例えば、A 業務が 2015 年 4 月～2016 年 7 月までの 16 ヶ月間、B 業務が 2016 年 4 月～2017 年 3 月までの 12 ヶ月間の場合、2016 年 4 月～7 月の 4 ヶ月間が重複しますので実務経験年数は、先行する A 業務を 16 ヶ月とし、B 業務は重複する 4 ヶ月分を除き 8 ヶ月と記入してください。）

記入後、重複機関がないか必ず確認をしてください。

(14) 受験願書の実務経験年数と実務経験証明書の記載事項、年月数と相違ないよう注意してください。

記載例 1

※欄には記入しないでください

出欠チェック欄

	午前	午後
一次		
二次		

※

登録番号

砂防・急傾斜管理技術者試験受験願書

私は砂防・急傾斜管理技術者試験を受験したいので関係書類を添えて申し込みます。

2023 年 4 月 20 日

氏名 砂 防 次 郎 印

公益社団法人砂防学会 会長殿

↓ 氏名と漢字について、
住民票と同一のもては、

フリガナ	サ ボ ウ ジ ロ ウ		
氏 名	砂 防 次 郎 (砂防学会会員番号:)		写真貼付欄 たて 4.5cm よこ 3.5cm
生年月日等	1970 年 7 月 26 日 (男) 女)		
自宅電話番号	03 - 1234 - 5678		
自 宅 住 所	〒 102 - 0093		2023 年 4 月 1 日撮影
	フリガナ	トウキョウト チヨダク ヒラカワチョウ	
	東京都千代田区平河町 2-7-4		
	サボウカイカン		
砂防会館 401			
所 属 名	フリガナ	サボウ・キューケイシヤカンリギジュツカブシキガイシャ トウキョウシテン サボウカ	
(現在勤務している所属について、支店名・部署まで記入。ない場合は【なし】と記入)	所属名	支店名	部署名
	砂防・急傾斜管理技術株式会社	東京支店	砂防課
所属電話番号	03 - 5678 - 1234		
所属住所	〒 102 - 0093		左記のうち指導監督の実務経験年数 (7 年 0 ヶ月) ←
	フリガナ	トウキョウト チヨダク ヒラカワチョウ	
	東京都千代田区平河町 2-7-4		
	サボウカイカン		
砂防会館 501			
日中の連絡先	☐ 所属 ☐ 自宅 ☒ その他 (携帯等) 090-1234-5678		
メールアドレス	sabo@kanri.or.jp		
書類送付先	☒ 所属 ☐ 自宅 ☐ その他 ()		
実務経験年数	10 年 6 ヶ月 左記のうち指導監督の実務経験年数 (7 年 0 ヶ月) ←		
一次試験希望受験会場	☐ 仙台 ☒ 東京 ☐ 長野 ☐ 京都 ☐ 福岡		
試験免除申請	☐ 一次試験一部 (基礎) 免除 ☒ 一次試験一部 (基礎・専門) 免除 ☐ 一次免除 ☐ 免除なし		
二次試験希望受験会場	☒ 東京 ☐ 京都 ☐ 福岡		※受験番号

※整理番号

実務経験証明書の年月数を
記載してください。

記載例 2-1

(民間企業勤務の場合)

※欄には記入しないでください。

※受験番号

※整理番号

実務経験証明書

下記の受験申請者の実務経験の内容は、下記のとおりであることを証明します。

公益社団法人砂防学会 会長 殿

2023 年 4 月 15 日

(証 明 者) 会 社 名 砂防・急傾斜管理技術株式会社
役 職 名 取締役社長
氏 名 砂 防 太 郎

印

受験申請者	氏名	砂 防 次 郎	証明者との関係	社長と社員
実 務 経 験（砂防・急傾斜地崩壊対策に関する業務経験を記入してください）				
従事の期間	(上段) 勤務先（部課係まで）		(上段)勤務先所在地	
	(中段) 地位・職名		(下段)指導監督的実務経験の表示欄	
	(下段) 業務内容			
1997 年 10 月から 1998 年 7 月まで 10 ヶ月間	砂防管理技術（株） 砂防部砂防課		東京都港区	
	技術員			
	〇〇流域砂防基本計画検討業務			
1998 年 4 月から 2000 年 3 月まで 20 ヶ月間	砂防管理技術（株） 砂防部砂防課		東京都港区	
	技術員			
	〇〇地区土石流危険渓流調査業務			
2000 年 4 月から 2002 年 3 月まで 24 ヶ月間	砂防管理技術（株） 砂防部砂防課		東京都港区	
	技術員			
	〇〇流域砂防設備老朽化度評価検討業務			
2002 年 4 月から 2004 年 3 月まで 24 ヶ月間	砂防管理技術（株） 砂防部砂防課		東京都港区	
	主任技術員			
	〇〇地区雪崩対策施設設計業務			
2004 年 4 月から 2005 年 3 月まで 12 ヶ月間	砂防管理技術（株） 砂防部砂防課		東京都港区	
	主任技術員			
	〇〇流域砂防堰堤詳細設計業務			
2005 年 4 月から 2006 年 8 月まで 17 ヶ月間	砂防・急傾斜管理技術（株） 砂防部砂防課		東京都千代田区	
	主任技術員			
	〇〇地区土砂災害危険箇所基礎調査業務			

※1) 勤務先所在地欄には、勤務先住所を市区町村まで記入してください。

2) 指導監督的実務経験の表示欄には、管理技術者、事務所課長、プロジェクトリーダー等を具体的に書いてください。

3) 証明書が複数以上にわたるときは、それぞれ別葉にしてください。

記 載 例 2-2

氏名： 砂防 次郎		※ 受験番号	※ 整理番号
2006 年 5 月から 2007 年 3 月まで 7 ヶ月間	砂防・急傾斜管理技術（株） 砂防部砂防課	東京都千代田区	
	主任技術員		
	〇〇砂防堰堤被災メカニズム検討業務		
2007 年 4 月から 2008 年 3 月まで 12 ヶ月間	砂防・急傾斜管理技術（株） 砂防部急傾斜課	東京都千代田区	
	主任技術員		
	〇〇地区急傾斜地崩壊対策施設設計業務		
2008 年 4 月から 2009 年 12 月まで 21 ヶ月間	砂防・急傾斜管理技術（株） 名古屋支店技術部技術課	愛知県名古屋市	
	課長	①プロジェクトリーダー	
	〇〇流域砂防施設巡視・点検業務		
2009 年 8 月から 2010 年 3 月まで 3 ヶ月間	砂防・急傾斜管理技術（株） 名古屋支店技術部技術課	愛知県名古屋市	
	課長	②プロジェクトリーダー	
	〇〇地区急傾斜地崩壊対策施設点検業務		
2010 年 4 月から 2011 年 3 月まで 12 ヶ月間	砂防・急傾斜管理技術（株） 砂防部砂防課	東京都千代田区	
	課長	③管理技術者	
	〇〇流域砂防設備補強設計業務		
2011 年 4 月から 2012 年 8 月まで 17 ヶ月間	砂防・急傾斜管理技術（株） 砂防部砂防課	東京都千代田区	
	課長	④管理技術者	
	〇〇流域大規模土砂災害危機管理検討業務		
2012 年 6 月から 2013 年 3 月まで 7 ヶ月間	砂防・急傾斜管理技術（株） 砂防部	東京都千代田区	
	課長	⑤管理技術者	
	〇〇地区急傾斜地崩壊対策施設補強設計業務		
2013 年 4 月から 2014 年 7 月まで 16 ヶ月間	砂防・急傾斜管理技術（株） 砂防部	東京都千代田区	
	次長	⑥管理技術者	
	砂防設備点検ガイドライン検討業務		
2014 年 4 月から 2015 年 3 月まで 8 ヶ月間	砂防・急傾斜管理技術（株） 砂防部	東京都千代田区	
	次長	⑦管理技術者	
	〇〇流域砂防設備長寿命化計画策定業務		
年 月から 年 月まで ヶ月間			
年 月から 年 月まで ヶ月間			
実務経験計→	※210 ヶ月＝17 年 6 ヶ月	17 年 6 ヶ月	7 年 0 ヶ月

7 年以上

2 年以上

左の欄(実務経験計)の年・月数の中で指導監督の実務経験に従事した期間を抜き出した年・月数を記入して下さい。
(①②の合計)

記載例 3-1

(官公庁勤務の場合)

※受験番号

※整理番号

※欄には記入しないでください。

実務経験証明書

下記の受験申請者の実務経験の内容は、下記のとおりであることを証明します。

公益社団法人砂防学会 会長 殿

2023 年 4 月 15 日

(証 明 者) 会 社 名 国土交通省〇〇地方整備局〇〇事務所
役 職 名 事務所長
氏 名 砂 防 太 郎

印

受験申請者	氏名	砂 防 一 郎	証明者との関係	所長と事務所員
実 務 経 験（砂防・急傾斜地崩壊対策に関する業務経験を記入してください）				
従事の期間	(上段) 勤務先（部課係まで）			(上段) 勤務先所在地
	(中段) 地位・職名			(下段) 指導監督的実務経験の表示欄
	(下段) 業務内容			
1989 年 4 月から 1989 年 12 月まで 9 ヶ月間	建設省〇〇地方建設局〇〇事務所 調査課砂防係 技術職員 〇〇流域の砂防基本計画策定に関する業務			〇〇県〇〇市
1989 年 10 月から 1991 年 3 月まで 15 ヶ月間	建設省〇〇地方建設局〇〇事務所 調査課砂防係 技術職員 〇〇流域の施設配置計画策定に関する業務			〇〇県〇〇市
191 年 4 月から 1992 年 1 月まで 10 ヶ月間	建設省〇〇地方建設局〇〇事務所 工務課工務係 技術職員 〇〇砂防えん堤工事に係る設計・積算に関する業務			〇〇県〇〇市
1991 年 11 月から 1993 年 3 月まで 14 ヶ月間	建設省〇〇地方建設局〇〇事務所 工務課工務係 技術職員 〇〇川流路工工事に係る設計・積算に関する業務			〇〇県〇〇市
1993 年 4 月から 1994 年 2 月まで 11 ヶ月間	建設省〇〇地方建設局〇〇事務所 〇〇出張所 技術係長 〇〇第 2 砂防えん堤工事の監督に関する業務			〇〇県〇〇市
1993 年 10 月から 1995 年 3 月まで 13 ヶ月間	建設省〇〇地方建設局〇〇事務所 〇〇出張所 技術係長 〇〇地区〇〇山腹工工事の監督に関する業務			〇〇県〇〇市

※1) 勤務先所在地欄には、勤務先住所を市区町村まで記入してください。

2) 指導監督的実務経験の表示欄には、管理技術者、事務所課長、プロジェクトリーダー等を具体的に書いてください。

3) 証明書が複数以上にわたるときは、それぞれ別葉にしてください。

記 載 例 3-2

氏名： 砂防 一郎

※ 受験番号

※ 整理番号

砂防は、急傾斜関係業務に従事していない期間は、記載しないで下さい。

1998 年 4 月から 1998 年 12 月まで 9 ヶ月間	建設省〇〇地方建設局〇〇事務所 監督官 〇〇流域〇〇砂防えん堤群工事の監督に関する業務	〇〇県〇〇町 ①監督官
1998 年 11 月から 2000 年 3 月まで 15 ヶ月間	建設省〇〇地方建設局〇〇事務所 監督官 〇〇第 3 砂防えん堤工事の監督に関する業務	〇〇県〇〇町 ②監督官
2004 年 4 月から 2005 年 2 月まで 11 ヶ月間	国土交通省〇〇地方整備局〇〇事務所 〇〇出張所 出張所長 〇〇砂防えん堤工事の監督に関する業務	〇〇県〇〇市 ③出張所長
2004 年 10 月から 2006 年 3 月まで 13 ヶ月間	国土交通省〇〇地方整備局〇〇事務所 〇〇出張所 出張所長 〇〇溪流保全工工事の監督に関する業務	〇〇県〇〇市 ④出張所長
2010 年 4 月から 2010 年 12 月まで 9 ヶ月間	国土交通省〇〇地方整備局〇〇事務所 砂防調査課 課長 〇〇流域における砂防事業計画の策定に関する業務	〇〇県〇〇町 ⑤課長
2010 年 10 月から 2011 年 11 月まで 11 ヶ月間	国土交通省〇〇地方整備局〇〇事務所 砂防調査課 課長 〇〇流域における砂防事業評価に関する業務	〇〇県〇〇町 ⑥課長
2011 年 10 月から 2013 年 3 月まで 16 ヶ月間	国土交通省〇〇地方整備局〇〇事務所 砂防調査課 課長 〇〇火山緊急減災対策砂防計画策定に関する業務	〇〇県〇〇町 ⑦課長
2013 年 4 月から 2014 年 6 月まで 15 ヶ月間	国土交通省〇〇地方整備局〇〇事務所 調査課 課長 〇〇流域における砂防基本計画に関する業務	〇〇県〇〇市 ⑧課長
2014 年 4 月から 2015 年 3 月まで 9 ヶ月間	国土交通省〇〇地方整備局〇〇事務所 調査課 課長 〇〇流域における大規模土砂災害危機管理計画策定業務	〇〇県〇〇市 ⑨課長
年 月から 年 月まで ヶ月間		
年 月から 年 月まで ヶ月間		
実務経験計→	※180 ヶ月＝15 年 0 ヶ月	15 年 0 ヶ月 7 年以上
		9 年 0 ヶ月 2 年以上

左の欄（実務経験計）の年数の中で指導監督
業務経験に就いた期間を抜き出した年数
を記入して下さい。
①⑨の合計

VII. 受 験 料

(1) 受験料

試験内容の区分	一般	砂防学会正会員
一次試験免除なし	12,000 円（税込み） 消費税 10% 1,091 円	10,000 円（税込み） 消費税 10% 909 円
一次試験一部（基礎）免除	12,000 円（税込み） 消費税 10% 1,091 円	10,000 円（税込み） 消費税 10% 909 円
一次試験一部（基礎・専門）免除	10,000 円（税込み） 消費税 10% 909 円	8,000 円（税込み） 消費税 10% 727 円
二次試験（一次試験合格者）	7,000 円（税込み） 消費税 10% 636 円	7,000 円（税込み） 消費税 10% 636 円

- (2) 一次試験受験料は、受験願書提出時に払込取扱票(P-15 の記載見本を参考にしてください)で、必ず個人別に払込み、その振替払込請求書兼受領証の写しを受験願書の裏面にはがれないようにのりづけしてください。数人分をまとめて一枚の振込用紙で払い込むことはしないでください。
- (3) 二次試験の受験料の払込みは、一次試験合格者及び一次試験の免除申請者に対し、9 月にあらためて案内します。
- (4) 受験申込受付締切の 3 日前までに受験取りやめの申し出があった場合は受験料から所要の手数料を差し引いた金額を返還いたします。

注) 1. 当砂防学会から別途領収書は発行致しません。

(注) 払込取扱票(青刷)はお近くの郵便局にて入手して下さい。

振替口座：口座名称 公益社団法人 砂防学会
 口座記号番号 00180-0-602178

振込取扱票記載見本

払込取扱票									
口座記号・番号はお間違えないよう記入してください。									
口座記号					口座番号(右詰めで記入)				
001800					602178				
加入者名 *(公益社団法人) 砂防学会					金額 千 百 十 万 千 百 十 円				
通 信 欄 * おとこ * おなまえ (ご連絡先電話番号 - -)					備考				
日 附 印									

各票の※印欄は、ご依頼人様においてご記入ください。

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)
これより下部には何も記入しないでください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

切り取らないでお出ください。

振替払込請求書兼受領証									
口座記号番号					001800				
加入者名					*(公益社団法人) 砂防学会				
金額					千 百 十 万 千 百 十 円				
ご依頼人					おなまえ				
(消費税込) 日 附 印									
料金					円				
備考									

この受領証は、大切に保管してください。

VIII. 受験にあたっての注意事項

- (1) 受験者は、試験開始の 10 分前までに試験場に入場し、受験番号によって指定された席につき、受験票を机の上に置いてください。
- (2) 試験場には、受験票及び筆記用具を必ず持参してください。
- (3) 不正手段を用いた受験者については、即刻試験を中止させ退場させます。
- (4) 答案用紙には、受験番号を必ず記入してください。
- (5) 試験の実施については、係員の指示によく従ってください。
- (6) 受験票を忘失された方は、必ず受付にお申し出ください。
- (7) 喫煙は、指定の場所以外のところでは厳禁です。
- (8) 試験開始 30 分以内は退出できません。前記以外の時間に退出しようとする方は挙手をして係員の許可を受けるようにしてください。なお、途中退席するときは、試験問題は机の上に置いて退出してください。
- (9) 試験中の携帯電話の使用は禁止します。

IX. 砂防・急傾斜管理技術者の登録及び登録料

砂防・急傾斜管理技術者と認定されるには、試験に合格した後、砂防学会に登録申請し、登録料を納付後、砂防・急傾斜管理技術者登録簿に登録されることが必要です。試験合格者登録申請期限は、登録案内送付から約3週間後です。申請書受理後約1ヶ月で登録を完了し、砂防・急傾斜管理技術者登録証明書及び砂防・急傾斜管理技術者登録証（携帯用カード）を交付します。

※ 登録料：10,000 円（税込み） 消費税 10% 909 円

ただし、3 週間の登録申請期限を過ぎて登録申請する場合の登録料は 12,000 円（税込み）になります。なお、登録料は消費税の改定に伴い変更になる場合があります。

また、登録後、氏名、現住所、所属会社等を変更した場合は、遅滞なく砂防学会に届けてください。

X. その他の注意事項

- (1) 受験関係書類を提出してから住所を変更した者は、砂防学会にすみやかに文書で連絡してください。
- (2) 試験日の1週間前までに受験票がお手元に到着しないときは、砂防学会事務局に問い合わせてください。
- (3) 受験料および提出書類は原則として返却いたしません。
- (4) 試験についての照会等には砂防学会事務局で受付けます
- (5) 振込手数料は受験者ご自身でご負担ください。

砂防・急傾斜管理技術者試験

受験願書等チェックリスト

(このチェックリストを受験願書等と同封して郵送してください。)

以下の項目を確認し、☑をしてください。

【必要（送付）書類】

☐ 砂防・急傾斜管理技術者試験受験願書

☐ 実務経験証明証書

☐ 住民票（抄本、2ヶ月以内発行のもの）

☐ 免除の対象となる資格等を証明するもの（免除申請者のみ）

●基礎的知識問題（多肢選択式）免除の場合

☐ 技術士第一次試験合格証（コピー可）

☐ 技術士第一次試験合格証明書（原本）

☐ 技術士補登録証（コピー可）

☐ 技術士補登録証明書（原本）

☐ 1級土木施工管理技術検定合格証明書（コピー可）

●基礎的知識問題（多肢選択式）及び専門的知識問題（多肢選択式）免除の場合

☐ 技術士の資格証明書（技術士登録証等、選択科目のわかるもの、コピー可）

☐ 技術士第二次試験合格証（コピー可）

●一次試験の免除の場合

☐ 砂防・急傾斜管理技術者試験一次試験合格通知書（コピー可）

【砂防・急傾斜管理技術者試験受験願書】

☐ 受験願書の氏名・住所は住民票と同一か

☐ 実務経験年数は実務経験証明書と同一か

☐ 氏名欄に押印があるか

☐ 砂防学会正会員の者は砂防学会会員番号を記入したか

☐ 受験希望地の欄に☑が記入されているか

☐ 試験免除申請の欄に、正しく☑が記入されているか

- ◆一次試験のうち基礎的知識問題（多肢選択式）免除申請者は受験願書「試験免除申請」欄の「**一次試験一部（基礎）免除**」に☑を記入してください

試験免除申請	☒ 一次試験一部（基礎）免除	☐ 一次試験一部（基礎・専門）免除	☐ 一次免除	☐ 免除なし
--------	--	--	-------------------------------	-------------------------------

- ◆一次試験のうち基礎的知識問題（多肢選択式）及び専門的知識問題（多肢選択式）免除申請者は受験願書「試験免除申請」欄の「**一次試験一部（基礎・専門）免除**」に☑を記入してください。

試験免除申請	☐ 一次試験一部（基礎）免除	☒ 一次試験一部（基礎・専門）免除	☐ 一次免除	☐ 免除なし
--------	---------------------------------------	---	-------------------------------	-------------------------------

- ◆一次試験の免除申請者は、受験願書「試験免除申請」欄の「**一次試験免除**」に☑を記入してください。

試験免除申請	☐ 一次試験一部（基礎）免除	☐ 一次試験一部（基礎・専門）免除	☒ 一次免除	☐ 免除なし
--------	---------------------------------------	--	--	-------------------------------

☐裏面に振替払込請求書兼受領証の写しを貼付しているか

☐写真は次の指定のものを添付しているか

- サイズ：縦 4.5 cm×横 3.5 cm（パスポートサイズ・カラー写真）
- 撮影後 3 ヶ月以内のもの
- 写真裏面に氏名・希望受験地を記入
- 証明用カラー写真と同様のものとし、スナップ写真は不可（バックが無背景で、無地、人物の影、景色等の他の物が写っていないこと）
- 人物の写真が鮮明で、サングラス、マスク等を着用していないもの（本人確認が可能な写真であること）
- 脱帽、正面上半身のもの（受験時に眼鏡等を使用する方は、必ず眼鏡等を着用した写真とする）

☐必要項目が記入されているか

【実務経験経歴書】

- ☐証明者欄の記入・押印（公印）があるか
- ☐実務経験年数は 2023 年 3 月 31 日現在で記入されているか
- ☐7 年以上の実務経験年数、2 年以上の指導監督的（管理的な立場）実務経験があるか
- ☐従事の期間に重複がないか
- ☐必要項目が記入されているか

【受験手数料】

- ☐受験手数料を払い込んでいるか

- ☐ 一次試験：12,000 円（税込み）【砂防学会正会員：10,000 円（税込み）】
（一次試験のうち基礎的知識問題（多肢選択式）免除の場合も上記と同様）
- ☐ 一次試験のうち基礎的知識問題（多肢選択式）及び専門的知識問題（多肢選択式）
免除の場合一次試験：10,000 円（税込み）【砂防学会正会員：8,000 円（税込み）】

◆書類の送付に際して

〒102-0093

東京都千代田区平河町 2 - 7 - 4（砂防会館別館 3F）

公益社団法人 砂防学会 事務局宛

（申込書類在中）

※書類はホッチキス止めせず、折らないで送付してください。

※封筒の表面は、上記の宛先を記入するか、切り取ってご利用ください。

※封筒の裏面には、差出人の住所・氏名を記入してください。

※送付にあたって、念のため再度、以下の内容を確認してください。

- ☐ 「受験願書」「実務経験証明書」「住民票」「受験願書等チェックリスト」の全てが入っているか
- ☐ 免除申請者は、免除の対象となる資格等を証明する書類が入っているか
- ☐ 「受験願書」に、押印されているか
- ☐ 「受験願書」に写真が添付されているか
- ☐ 「受験願書」の裏面に、振替払込請求書兼受領証の写しが貼付されているか
- ☐ 「実務経験証明書」に、証明者の印（公印）が押印されているか
- ☐ 住民票は、2 ヶ月以内に発行されたものか